

# 本山の御授戒に

## 参加

＝四月十二日＝ 於 総持寺





勅使門

本山では毎年四月十日から十六日までの七日間、報恩大授戒会えんたいじかいがおこなわれます。

授戒会じかいというのは、仏の戒法を仏に代わってお授けする宗門最高そうもんの儀式であり、戒弟かいてい（仏の戒法を受ける

人）は寺に寝泊りして、心に仏を念じ、口に「南無三世諸仏」を唱え、耳に声明しょうめいや説戒せつがいを聞き、眼は法要に注ぎ、体で礼拝をおこない、五日目の晩懺悔道場に入つて身も心も清浄になり、六日目の晩には須弥壇上に登り、続いて戒師様から仏弟子となったあかしとしてのお血脈を頂戴し、七日間に満散帰宅となるのです。

ところが、お互い忙しくなった今日、七日間も留守にすることはむずかしくなりました。それで、因縁脈授与じゆんみやくじゆんといまして、お授戒に因縁を結んだ人には、たとい一日戒弟たりとも、仏の戒法をお授けしてお血脈を授与する便法べんぽうがとられております。そこで善光寺では、一日戒弟を募りましたところ七十三名の希望者がありましたので、黒田方丈先導のもとに本山に上山し、終日法に随つて行動し、全員めでたくお血脈を頂戴して帰途につきました。一カ寺で七十名を超す戒弟をお連れしたのは善光寺がはじめてで本山当局にたいへん感謝され、また戒弟の皆さんが有難い法悦にひたられたことはよろこばしい限りでした。